

# 目黒のサクラ保全事業報告会

～ SAKURA REPORT of MEGURO 2020 ～



- 1 あいさつ
- 2 目黒のサクラ保全事業報告
- 3 目黒のサクラ基金について
- 4 桜守活動紹介

「題名」

NPO法人東京樹木医プロジェクト 理事長  
美濃又 哲男 氏

「題名」

NPO法人東京樹木医プロジェクト 顧問  
上北沢桜並木会議 樹木医  
石井 誠治 氏

- 5 閉会



サクラちゃん

## ❁ サクラ保全事業の概要

- ・ サクラ保全工事
- ・ サクラ再生実行計画作成

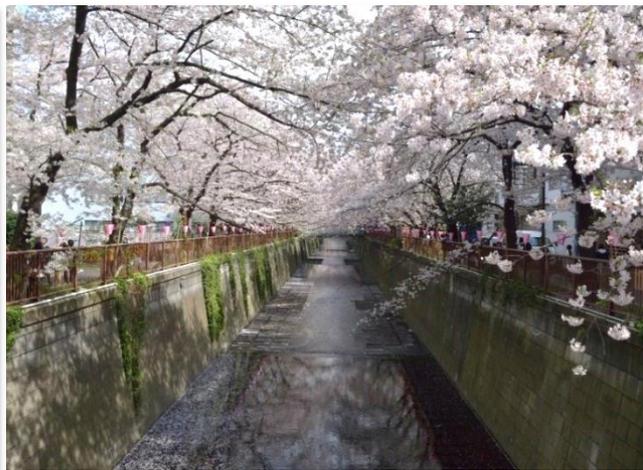


# さまざまな桜の風景

3



駒場野公園



目黒川



西郷山公園



呑川柿の木坂支流緑道



碑文谷公園



碑さくら通り

# なぜ桜を保全するのか？



花を  
楽しむ

コミュニ  
ティ形成



季節を  
感じる

緑陰の  
形成



地域の  
活性化

観光  
資源

まちの  
魅力向上



良好な景  
観の創出

いきもの  
の住みか、  
移動経路

環境  
保全

- ・ 環境の変化
- ・ 老齢化

- ・ 樹勢の低下
- ・ 枯死

倒木の危険



ふるさと目黒の桜の景観を  
後世に伝えるため、桜の

**保全・更新**

の取り組みが必要



呑川柿の木坂支流緑道

平成25年度

**目黒のサクラ基金**

の設立



1

## 樹木診断

樹木医による診断を行い、桜の健康状態を把握します。

2

## サクラ再生実行計画の作成

桜の保護、植替えについて地域の皆様と検討を行い、地域に合った計画を作成します。

3

## 桜の保全・更新

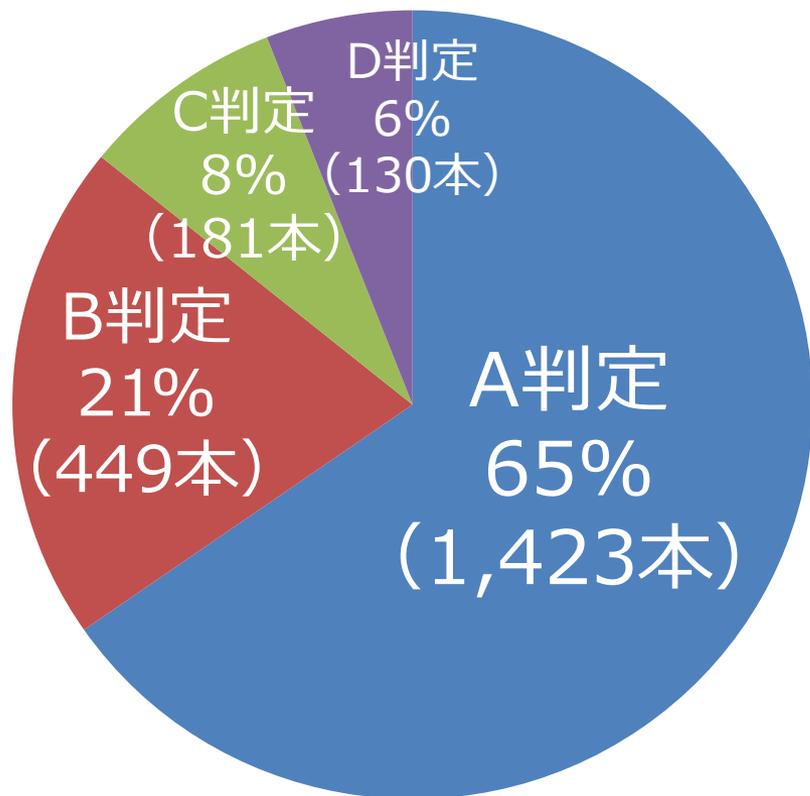
サクラ再生実行計画に基づき、保護や植替えを進めていきます。

倒木の危険性が高くなった桜については、安全確保のため先行して伐採します。



# 1. 樹木診断

平成29年度までに、区内の公園・緑道・道路緑地・児童遊園の桜計 **2,183本** の樹木診断を実施



この結果をもとに



- ・ 倒木の危険のある樹木の伐採
- ・ サクラ再生実行計画作成
- ・ 保護、植替え

A : 健全か健全に近い

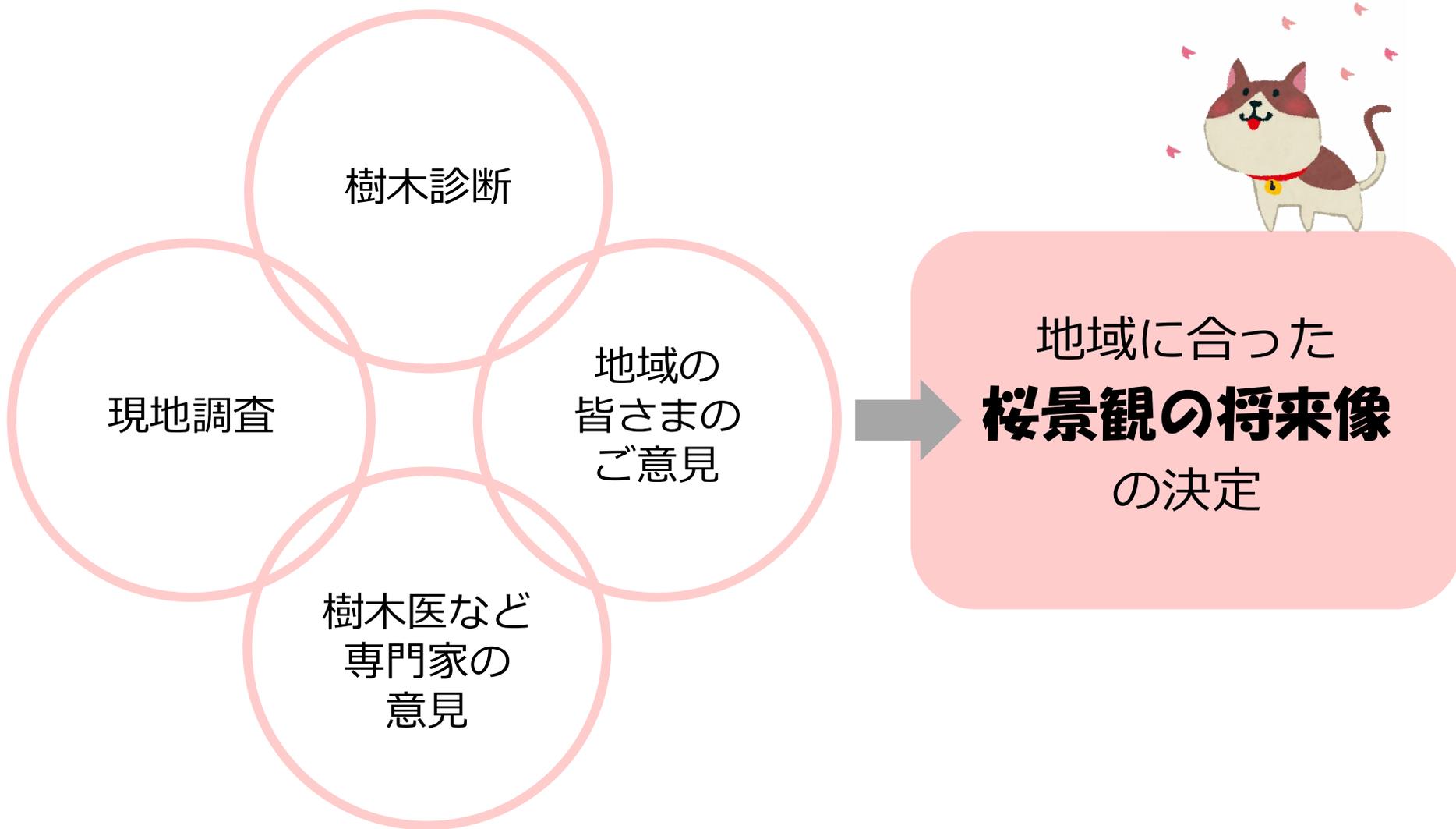
B : 注意すべき被害が見られる

C : 著しい被害が見られる

D : 不健全

## 2. サクラ再生実行計画作成

植替えの品種や間隔（新植の有無）など地域に合った桜景観の将来像を検討し、サクラ再生実行計画を作成します。



# 3. 桜の保全・更新

植替え費用は1本  
あたり約100万円

9

## ● 植替え



伐採 (54本)



抜根 (40本)



碑さくら通り

新植 (12本)

## ● 保護



樹勢回復作業  
(土壌改良や施肥など)

- ・ 現在、植栽されている桜 → **保護**
- ・ 倒木の危険性が高くなった桜 → **伐採**
- ・ 植替える場合、周辺環境にあった品種の桜を適切な間隔 → **新植**

持続可能な桜並木を作り、  
将来にわたって桜の景観を引き継ぐ

- ・ サクラ保全事業の概要

## ❁ サクラ保全工事

- ・ サクラ再生実行計画作成



倒木の危険がある樹木や枯死した樹木の伐採

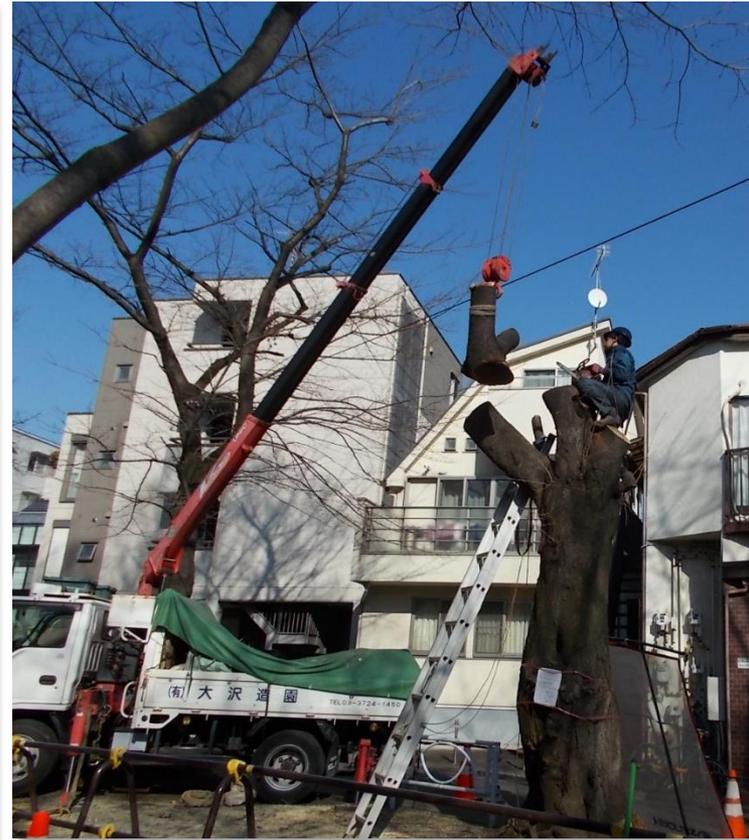
菅刈公園、呑川本流緑道、立会川緑道など 計12本

抜根（切り株の撤去）

東が丘二丁目緑地、田向円融寺通りなど 計9本



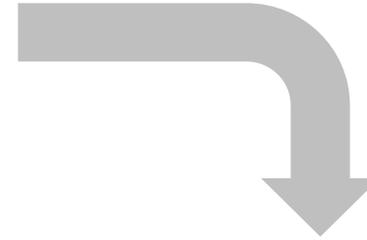
菅刈公園



東が丘二丁目緑地



抜根前



抜根後

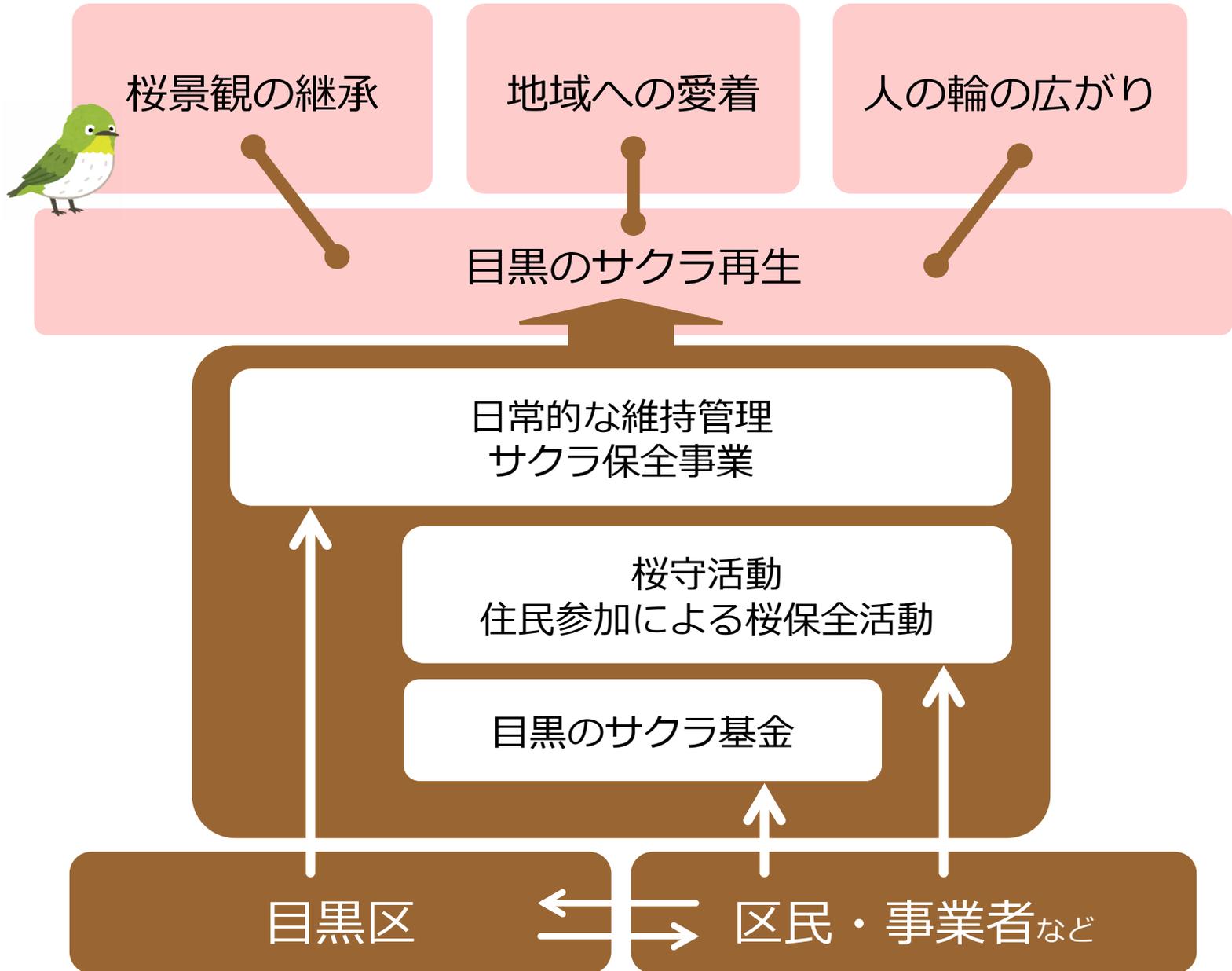
立会川緑道



- ・ サクラ保全事業の概要
- ・ サクラ保全工事

## ❁ サクラ再生実行計画作成







## サクラ再生実行計画作成

九品仏川緑道、駒場野公園

## サクラ保全工事

- ・ 倒木の危険のある桜の伐採
- ・ 再生実行計画に基づく桜の保護、植替え  
田向円融寺通り、立会川緑道、呑川本流緑道など



サクラちゃん

- 平成26年3月から令和2年2月末までに  
804件 33,463,824円のご寄付をいただきました。
- 平成29年12月からふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」  
ホームページからもご寄付いただけるようになりました。  
詳しくは、「目黒のサクラ保全事業だより」をご覧ください。
- 1万円以上ご寄付いただいた方には桜の伐採材を活用して  
作成した「さんまペーパーナイフ」を差し上げています。  
(ふるさと納税の返礼品をご希望の方は除きます)

